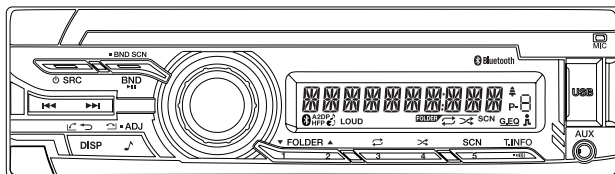
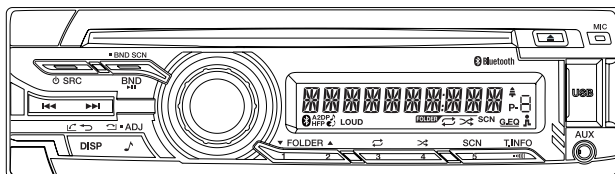


# clarion

Bluetooth<sup>®</sup>/CD/USB/MP3/WMAレシーバー  
Bluetooth<sup>®</sup>/USB/レシーバー

## 取扱説明書



このたびは、クラリオン商品をお買い求めいただきまして、  
まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

# 目次

## はじめに

主な特長	4
------	---

### ■ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6

### ■取扱上のご注意

ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CDの再生について (DISC 再生機能あり機種のみ)	9
CDについて (DISC 再生機能あり機種のみ)	9

## 本機の操作

### ■各部の名称とはたらき

本体部	10
モード別ディスプレイ表示	12

### ■基本の操作

電源を入れる・電源を切る	14
ソースを選ぶ	14
音量を調節する	14
音を消す	14
時計を表示する	14
時刻を合わせる	14
アラームを合わせる	15
表示を切り替える	15

### ■オーディオの設定をおこなう

オーディオの設定	16
グラフィック・イコライザーの調整	16
インテリジェント・チューンの設定	17
左右のスピーカー音量を調整する (バランス調整)	17
前後のスピーカー音量を調整する (フェダー調整)	17
ラウドネスを調整する	17
音質を調整する (バス/トレブル)	17

### ■システム設定をおこなう (アジャストモード)

設定項目の選びかた	18
ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)	18
ビーブ音を設定する (BEEP)	18
音質の調整方法を設定する (EQ SELECT)	18
スピーカー出力チャンネルを設定する (SPEAKER)	18
各種設定メモリーを抹消する (RESET)	18

### ■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	19
交通情報を聴く	19
受信バンドを切り替える	19
受信感度を選ぶ (DX/LO)	19
自動選局する (シーク選局)	19

手動選局する（マニュアル選局）	19
プリセット選局する	19
プリセットメモリーの登録（手動）	19
プリセットメモリーの登録（自動：オートストア機能）	20
バンドスキャン機能について	20

### ■CD/MP3/WMA を聴く（DISC 再生機能あり機種のみ）

MP3/WMA について	21
ディスクを入れる	21
ディスクを取り出す	22
すでに入っているディスクを聴く	22
再生を止める（一時停止）	22
曲を選ぶ	22
早送り / 早戻しする	22
フォルダを切り替える（フォルダ選択モード）	22
いろいろな再生（スキャン / リピート / ランダム演奏）	23

## 外部機器の操作

### ■USB 機器のオーディオファイルを聴く

USB 機器について	24
USB 機器を接続する	24
USB 機器のオーディオファイルを聴く	25
再生の終了と USB 機器の取り外し	25

### ■Bluetooth をつかう

Bluetooth 対応機器を利用する	26
Bluetooth（ブルートゥース）とは	26
Bluetooth 機器の取り扱いについて	26
Bluetooth 対応機器を登録する（ペアリング）	26
Bluetooth 機能を設定する	27
携帯電話を利用する	27
電話の着信	28
電話をかける	28
表示を切り替える	29
プライベート通話する	29
送話音声をミュートにする	29
Bluetooth オーディオを聴く	29
Bluetooth オーディオをペアリングする	29
Bluetooth オーディオのオーディオファイルを聴く	29

### ■ポータブルオーディオ（AUX）

AUX を選ぶ	30
AUX 入力の接続のしかた	30
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する（AUX SENS）	30

ステアリングホイールスイッチを使う	31
-------------------	----

## その他

故障かな？と思ったら	32
エラー表示について	36
仕様	37
アフターサービスについて	39

# 主な特長

 Intelligent Tune

 Bluetooth®



(DISC再生機能あり機種のみ)

MP3/WMA

USB

■Bluetooth® 内蔵によりハンズフリー通話とオーディオストリーミング再生に対応

■USB/AUX 端子を前面パネルに搭載

■クラリオン独自の音響補正技術“Intelligent Tune” 搭載

※Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. が所有する商標であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。





●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。


## 安全上のご注意


- 安全のため、ご使用前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

### ⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…** 


前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…** 


事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…** 

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…** 

火災や感電の原因となります。  
(DISC再生機能あり機種のみ)


### ⚠ 警告


- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店に相談する…** 


そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…** 


規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機と同じ規格の同じ容量のものと交換してください。


**⚠ 注意**


- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…** 

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れない…** 

けがの原因となることがあります。  
(DISC再生機能あり機種のみ)
- **本機を車載用以外には使用しない…** 

感電やけがの原因となることがあります。
- **電源を切るときは、音量を最小にする…** 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…** 

火災の原因となることがあります。
- **本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店に依頼する…** 

専門技術と経験が必要です。

# 取扱上のご注意

## ご確認事項

- **compact disc DIGITAL AUDIO** マークのついた CD をご使用ください。(DISC 再生機能あり機種のみ)
- また、シースルーディスク (半透明 CD)、ハート形や八角形など、特殊形状の CD はご使用しないでください。取り出せなくなる場合があります。(DISC 再生機能あり機種のみ)
- CD-R/RW で記録されたディスクでもご使用できない場合があります。(DISC 再生機能あり機種のみ)
- CD-ROM は、本機ではご使用できません。(DISC 再生機能あり機種のみ)
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1 時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は USB1.1/2.0 互換で、MP3/WMA フォーマットのファイルが再生できます。
- 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「USB マスストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- 使用する USB 機器が「USB マスストレージクラス」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。
- iTunes<sup>®</sup> Music Store で購入した楽曲や著作権保護されたファイルを CD-R や USB へコピーしての再生はできません。

## 本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげたりする原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

## ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部 (アクリル部品) の一部分に、細かいスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

## 表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

## エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスクプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」の項目（36 ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

## CD の再生について (DISC 再生機能あり機種のみ)

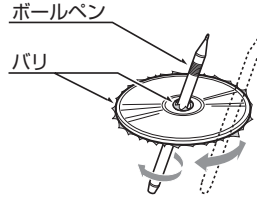
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- ディスクを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- ディスクをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

## CD について (DISC 再生機能あり機種のみ)

### ■取扱上のご注意

- CD-R、CD-RW は、通常の音楽 CD に比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロール CD は、CD 規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としては CD 再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CD の発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面（印刷面）や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりする CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなり、故障の原因となります。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



### ■CD の保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

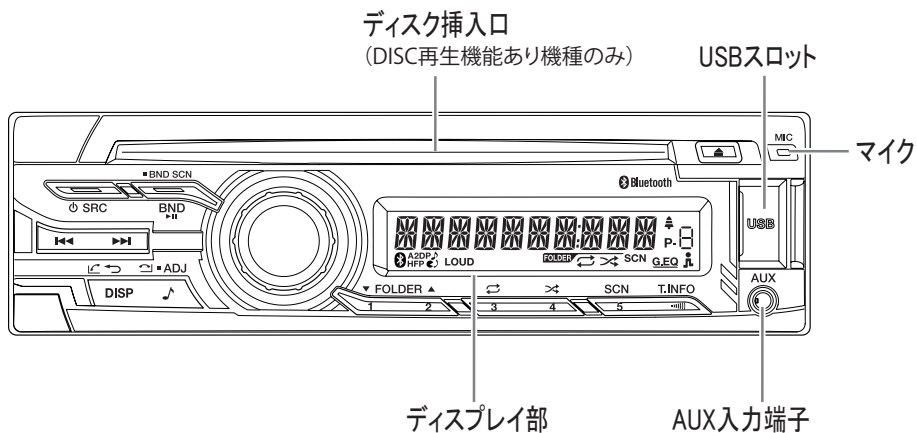
### ■CD のお手入れ

- ディスクが汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- レコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

# 各部の名称とはたらき

## 本体部

※主にDISC再生機能ありの機種を中心に説明しています。  
DISC再生機能がない機種では、CDモードには切り替わりません。



### [SRC] 電源/ソースボタン

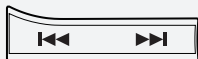
#### 電源/ソースボタン

- ・電源を入れ、各モードに切り替えます。
- ・電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



### [<<], [>>] サーチボタン

- ・ラジオモード時の選局に使います。
- ・ディスク、USB機器、Bluetoothオーディオモード使用時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- ・各種設定時に項目を選択します。

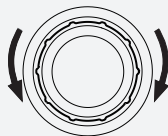


### [BND] バンドボタン

- ・ラジオモード時は、バンドを切り替えます。  
押し続けて(約1秒間)、受信感度の良い放送局を周波数順に受信します。
- ・CD/MP3/WMA/USB/Bluetoothオーディオモード時に、再生または一時停止をします。
- ・プライベート通話に切り替えます。

### [ROTARY] ロータリーノブ

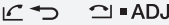
- ・音量を調節します。
- ・アジャストモード時の各種設定に使用します。
- ・各種設定の決定をします。
- ・ミュートをON/OFFします。



ハンズフリー通話中の場合は、送話音声ミュートします。

**[DISP]****ディスプレイボタン**

- ・ディスプレイ表示を切り替えます。
- ・携帯電話モード時は、電話を受けられます。


**[♪] サウンドボタン**

- ・オーディオの各種調整をします。
- ・押し続けて（約1秒間）、調整モードになります。（アジャストモード）。
- ・携帯電話モード時は、通話を終了する、もしくは着信を拒否します。

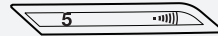
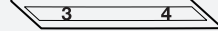
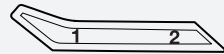
**[▲] イジェクトボタン**

(DISC再生機能あり機種のみ)

- ・CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

**[DIRECT] ダイレクトボタン**

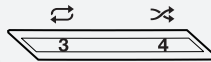
- ・ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続けて（約2秒間）、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。
- ・携帯電話モード時は、短縮ダイヤルをします。

**[FOLDER▼],[FOLDER▲]****アップダウンボタン**

- ・MP3/WMA/USBモード時、フォルダを切り替えます。

**[↺] リPEATボタン**

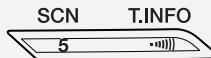
- ・CD/MP3/WMA/USBモード時、繰り返し再生をします。

**[✕] ランダムボタン**

- ・CD/MP3/WMA/USBモード時、ランダム再生をします。

**[SCN] スキャンボタン**

- ・CD/MP3/WMA/USBモード時、約10秒間ずつスキャン再生をします。

**[...] 交通情報ボタン**

- ・交通情報を聴きます。

## モード別ディスプレイ表示

### ■各モード共通の表示



### タイトル表示部

- ・モード表示（モード切替時に約2秒間表示します。）・時計表示（ディスプレイボタン押し時）

**TUNER** : ラジオモード

**DISC** : CD/MP3/WMAモード（DISC再生機能あり機種のみ）

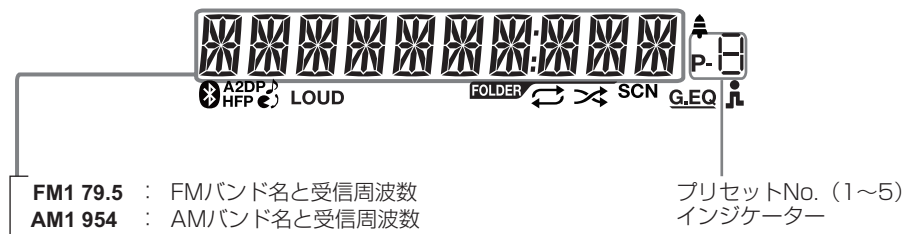
**USB** : USBモード

**BT-AUDIO**: Bluetoothオーディオモード

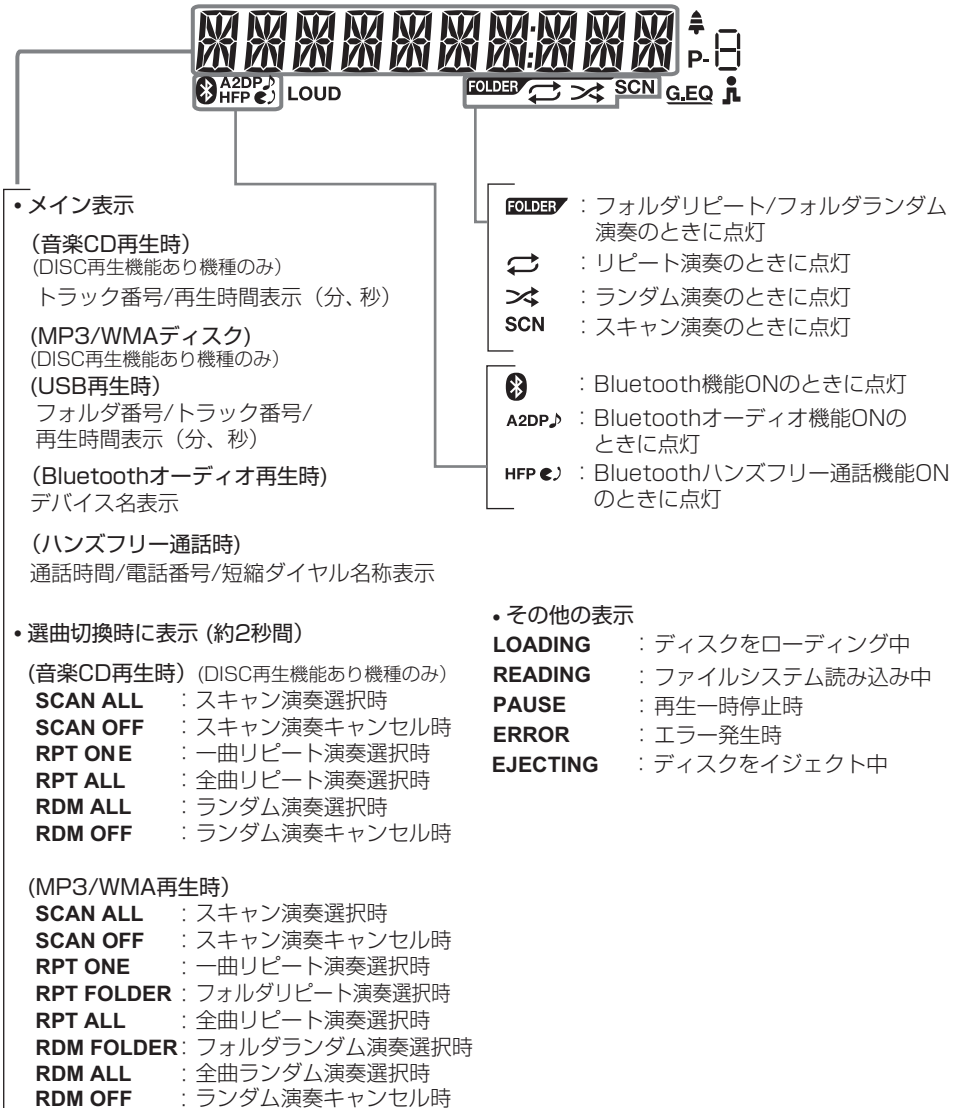
**AUX** : AUXモード

**BT-TEL** : 携帯電話モード

### ■ラジオモード時の表示



## ■CD/MP3/WMAモード、USBモード、Bluetoothモード時の表示



# 基本の操作

## 電源を入れる・電源を切る

### 1 [⏻SRC] ボタンを押す

→ EJECT 以外のボタンを押しても、電源が入ります。

#### ⚠ 注意

・バッテリーあがり防止のため、本機をご使用するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

### 2 電源を切るには [⏻SRC] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

#### ⚠ 注意

・電源を切るときは、音量を最小にしてください。電源をいれたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

## ソースを選ぶ

ラジオ・CD・AUX などのソースを選ぶ時に使用します。

### 1 [⏻SRC] ボタンを押す

→ 押すたびに、次のようにソースが切り替わります。

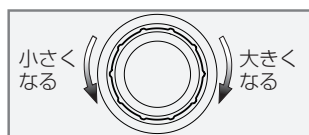


#### アドバイス

- ・[BT-TEL] は Bluetooth 対応機器が接続されたとき、表示します。
- ・ディスクが入っていないときは「DISC」は表示しません。(DISC 再生機能あり機種のみ)
- ・USB 接続機器が接続されていないときは「USB」は表示されません。

## 音量を調節する

### 1 [ROTARY] ノブを回す



#### ⚠ 注意

・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

## 音を消す

### 1 [ROTARY] ノブを回す

→ ミュート (消音) を ON/OFF します。  
ハンズフリー通話中の場合は、送話音声をミュートします。

## 時計を表示する

### 1 [DISP] ボタンを押して、時計表示を選ぶ

→ 「表示を切り替える」(15 ページ) の手順をご覧になり時計表示を選んでください。時計表示となります。

## 時刻を合わせる

### 1 時計表示時に、[DISP] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

#### アドバイス

・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

### 2 [ROTARY] ノブを回して、「SET CLOCK」を選択し、[ROTARY] ノブを押す

### 3 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、時または分を選ぶ

→ 点滅している時刻が合わせられます。

### 4 [ROTARY] ノブを回して、時刻を合わせ、[ROTARY] ノブを押す

→ 時刻が設定されます。

#### アドバイス

・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

## アラームを合わせる

本機は、指定した時刻になるとアラーム機能をはたらかせることができます。

**1** 時計表示時に、[DISP] ボタンを押し続ける(約1秒間)

**2** [ROTARY] ノブを回して、「SET ALARM」を選択し、[ROTARY] ノブを押す

**3** [ROTARY] ノブを回して、「ON」を選択し、[ROTARY] ノブを押す

→ 音波マークが点灯し、アラームを開く。

→ 「OFF」を選択したときは、アラームが閉じる

**4** [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、時または分を選ぶ

→ 点滅しているアラーム時刻が合わせられます。

**5** [ROTARY] ノブを回して、アラーム時刻を合わせ、[ROTARY] ノブを押す

→ アラームが設定されます。

### ■ アラームの止めかた…

• いずれかのボタンを押す

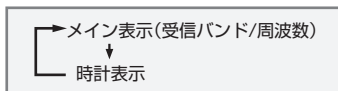
• アラーム音は、3分間鳴り続けます。

## 表示を切り替える

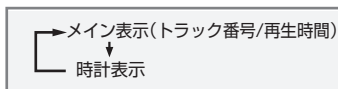
ラジオモード時、USB 機器、Bluetooth オーディオ再生時、ハンズフリー通話のディスプレイ表示を切り替えます。

**1** [DISP] ボタンを押して表示を選ぶ  
→ 押すたびに、次のように切り替わります。

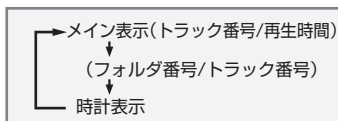
### ● ラジオモード



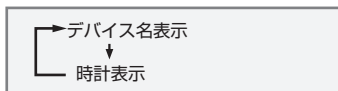
### ● 音楽 CD 再生時 (DISC 再生機能あり機種のみ)



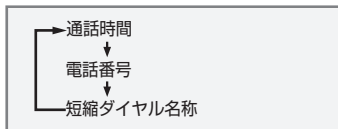
### ● MP3/WMA ディスク (DISC 再生機能あり機種のみ) USB 再生時



### ● Bluetooth オーディオ再生時



### ● Bluetooth ハンズフリー通話中時



→ 短縮ダイヤル名称を入力していないときは、「NO NAME」が表示されます。

# オーディオの設定をおこなう

## オーディオの設定

1 [♪] ボタンを押して、サウンド設定モードにする

2 [◀◀], [▶▶] ボタン押し、変更したいモードを選ぶ

→ 押すたびに以下のようにサウンド設定モードが切り替わります。

### サウンド設定モード表示

G-EQ \*1※ : グラフィック・イコライザー  
(BASS \*2 : バス(低音))  
(TREB \*2 : トレブル(高音))  
BAL : バランス(左右バランス)  
FAD : フェダー(前後バランス)  
INTEL-TUNE※ : インテリジェントチューン  
LOUD : ラウドネス

### アドバイス

\*1 (EQ SELECT) が「G-EQ」に設定時、表示されます。

\*2 (EQ SELECT) が「BASS/TREB」に設定時、表示されます。

→ 18ページの「システム設定の変更(アジャストモード)」も参照してください。

※設定値を調整する時、[ROTARY] ノブを押してください。

3 [ROTARY] ノブを回して、設定値を選ぶ

4 設定終了後、[♪] ボタンを押して、元のモードに戻る

### アドバイス

・約 10 秒間操作していないときは、調整前の表示に自動的に切り替わります。→ (BASS)、(TREB)、(BAL)、(FAD) 設定時

## グラフィック・イコライザーの調整

はじめに、プリセットされた音質カーブを選びます。更に音質をきめ細かく調整することができます。お好みの音質に設定してお楽しみください。

1 「オーディオの設定」の手順で (G-EQ) を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを押して、プリセットされた音質を [ROTARY] ノブにて選ぶ

→ プリセットされた音質で良ければ、[♪] ボタンを押して、元のモードに戻ります。



※ 初期設定は、「OFF」です。

3 更にお好みの音質調整を行う為には、[ROTARY] ノブを押す

4 [◀◀], [▶▶] ボタン押し、周波数を選ぶ (60Hz, 250Hz, 620Hz, 1kHz, 4kHz, 8kHz, 16kHz)

5 [ROTARY] ノブを回して、調整する

・調整範囲は、+6 ~ -6 です。

6 [1] ~ [3] ボタンを長押しすることで USER1 ~ USER3 に記憶されます

→ BASS-BOOST/HIGH-BOOST/VOCAL/IMPACT/NATURAL の各モード時に調整し、USER1 ~ USER3 に記憶しなかった場合、「CUSTOM」に一時的に保存されます。

7 [♪] ボタンを押して、元のモードに戻る

→ G-EQ マークが点灯し、グラフィック・イコライザーが開く。

※ 初期設定は、「OFF」です。G-EQ マークが消灯し、グラフィック・イコライザーが閉じる。


## インテリジェント・チューンの設定

- 1 「オーディオの設定」の手順で (INTEL-TUNE) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを押す
- 3 [◀◀], [▶▶] ボタン押して、効果を出したい機能「S-RESTORER」「V-BASS」「D-BEAT」を選ぶ

サウンドリストアラー(S-RESTORER):  
圧縮オーディオを原音の音質に近づける  
バーチャルバス(V-BASS):  
迫力ある重低音を放つ  
ダイナミックビートエンハンサー  
(D-BEAT):  
音源のメリハリ感が再現され、迫力ある  
ビートが楽しめる

- 4 [ROTARY] ノブで設定値を変更する [OFF/LOW/MID/HIGH]

→  マークが点灯し、インテリジェント・チューンが開く。

※ 初期設定は、「OFF」です。 マークが消灯し、インテリジェント・チューンが閉じる。

左右のスピーカー音量を調整する  
(バランス調整)

左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- 1 「オーディオの設定」の手順で (BAL) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、左右のスピーカーの音量バランスを調整する
  - ・調整範囲は、R 7 ~ L 7 です。
  - ※ 初期設定は、「0」です。

前後のスピーカー音量を調整する  
(フェダー調整)

前後のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- 1 「オーディオの設定」の手順で (FAD) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、前後スピーカーの音量バランスを調整する
  - ・調整範囲は、F 7 ~ R 7 です。
  - ※ 初期設定は、「0」です。

## ラウドネスを調整する

音量が小さいときにでも聞き易いように低音 / 高音を強調します。

- 1 「オーディオの設定」の手順で (LOUD) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、調整する
  - ※ 初期設定は、「ON」です。

## 音質を調整する (バス / トレブル)

低音 / 高音をお好みのレベルに調整することができます。

- 1 「オーディオの設定」の手順で (BASS) または (TREB) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、レベルを調整する
  - ・調整範囲は、- 15 ~ + 15 です。
  - ※ 初期設定は、「0」です。

## アドバイス

- ・「システム設定をおこなう」の (EQ SELECT) が [G-EQ] に設定されている場合、(BASS) および (TREB) は表示されません。

# システム設定をおこなう (アジャストモード)

## 設定項目の選びかた

- 1 [▶] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] ボタンを押し、設定する項目を選ぶ  
→ 押すたびに、アジャストモード表示の通りに設定項目が切り替わります。設定は、各設定項目の設定手順をご覧になり設定してください。

### アジャストモード表示

AUTO STORE: ラジオモード時のみ  
オートストア

DX/LO : ラジオモード時のみ  
DX/LOの設定

AUX SENS: AUXモード時のみ  
外部入力感度調整

BT SELECT: Bluetooth 機器切替

BT DELETE: Bluetooth 機器削除

BT DISCON: Bluetooth 機器接続  
解除

A-ANSWER: 自動応答

PIN CODE : PIN CODE変更

DIMMER : ディマー調整

BEEP : ビープ音設定

EQ-SELECT: 音質設定

SPEAKER: スピーカーチャンネル  
設定

RESET : 設定メモリーをリセットする

## アドバイス

- (AUTO STORE)、(DX/LO) は、ラジオモード選択時、(AUX SENS) は、AUX モード選択時に表示されます。  
→ 詳細手順は「ラジオを聴く」「ポータブルオーディオ (AUX)」をそれぞれ参照してください。
- (BT SELECT)、(BT DELETE)、(BT DISCON)、(A-ANSWER)、(PIN CODE) は Bluetooth 機能です。  
→ 詳細手順は「Bluetooth をつかう」をそれぞれ参照してください。

## ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で (DIMMER) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して設定する
  - ON: 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
  - OFF: 連動しません。  
※初期設定は、「ON」です。

## ビープ音を設定する (BEEP)

ボタン操作時のビープ音を設定します。「ON」のとき、ボタン操作時にスピーカーから“ピッ”と音がします。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で (BEEP) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して設定する
  - ON: スピーカーから音がでます。
  - OFF: スピーカーから音がでません。  
※初期設定は、「ON」です。

## 音質の調整方法を設定する (EQ SELECT)

音質の調整方法を切り替えます。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で (EQ SELECT) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して設定する
  - G-EQ: グラフィックイコライザーによる音質調整。
  - BASS/TREB: 低音 / 高音による音質調整。  
※初期設定は、「G-EQ」です。

## スピーカー出力チャンネルを設定する (SPEAKER)

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で (SPEAKER) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して設定する
  - SP 4 CH: スピーカー出力は 4 チャンネルです。
  - SP 2 CH: スピーカー出力はフロント 2 チャンネルです。  
※初期設定は、「SP 4 CH」です。

## 各種設定メモリーを抹消する (RESET)

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で (RESET) を選び、[ROTARY] ノブを押す
- 2 [ROTARY] ノブを回して「ARE U SURE」を選び、抹消して良ければ [ROTARY] ノブを押す  
→ 「CLEARED」が表示されます。  
→ 「CANCEL」を選んだ時は抹消が中止されます

# ラジオを聴く

## ラジオを選ぶ

- 1 [SRC] ボタンを押して **TUNER** を選ぶ  
→ 押すたびに、次のようにソースが切り替わります。



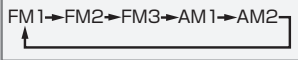
## 交通情報を聴く

- 1 [交通] ボタンを押す  
→ 交通情報放送局を受信します。  
(初期値: AM1620kHz)  
・アップ/ダウン ボタンを押すたびに、AM1620kHz、AM1629kHz に切り換えます。  
■ 元のモードに戻すには…  
→ もう一度、[交通] ボタンを押してください。

## 受信バンドを切り替える

受信バンドを切り替えることにより、FM 放送、AM 放送をお楽しみいただけます。

- 1 [BND] ボタンを押す  
→ 押すたびに、バンドが切り替わります。



## 受信感度を選ぶ (DX/LO)

受信感度を切り替えることにより、音質の良い放送局をお楽しみいただけます。

- 1 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀], [▶] ボタンを押して、(DX/LO) を選ぶ
- 3 [ROTARY] ノブを回して設定する  
**DX**: 電波の強い放送局・弱い放送局、関係なく受信します。  
**LOCAL**: 電波の強い放送局のみ受信します。より良い音質の放送局をお楽しみいただけます  
※ 初期設定は、(DX) です。

## 自動選局する (シーク選局)

放送局を自動的に選局できます。

- 1 [◀], [▶] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)  
→ 放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

## 手動選局する (マニュアル選局)

- 1 [◀], [▶] ボタンを押す

### アドバイス

- ・そのまま押し続けると、自動選局になります。

## プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ  
→ ディスプレイに受信周波数とプリセット No. を表示します。

### アドバイス

- ・[DIRECT] ボタンを押し続ける (約 2 秒間) とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

## プリセットメモリーの登録 (手動)

手動プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーを手動で登録します。

登録できるプリセットメモリーは、FM1、FM2、FM3、AM1、AM2 各 5 局、合計で 25 局です。

- 1 [BND] ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ
- 2 [◀], [▶] ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ
- 3 メモリーさせたい [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンを押し続ける (約 2 秒間)  
→ 押した [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンに登録されます。

### プリセットメモリーの登録 (自動：オートストア機能)

オートストア機能について…

受信感度の良い放送局を自動的にプリセットメモリーへ登録をします。

#### 1 [BND] ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

→自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。(FM時はFM3へ5局、AM時はAM2に5局、合計10局が登録されます。)

#### 2 [♪] ボタンを押し続けて(約1秒間)、(AUTO STORE)を選ぶ

#### 3 [ROTARY] ノブを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイに自動メモリー動作中のプリセット No. を表示します。

・自動的に、受信感度の良い放送局が [DIRECT] (1～5) ボタンに登録されていきます。

#### アドバイス

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が5局に満たない場合は、工場出荷時の放送局が呼び出されます。以前メモリーしていた放送局は消去されますので、ご注意ください。

### バンドスキャン機能について

受信感度の良い放送局を周波数順に探しながら、各局を7秒間ずつ聞くことができます。

#### 1 [BND] ボタンを押して、聞きたい受信バンドを選ぶ

#### 2 [BND] ボタンを押し続けます(約1秒間)

# CD/MP3/WMA を聴く (DISC 再生機能あり機種のみ)

## MP3/WMA について

### ● MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3) に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

### ● WMA とは

・ [Windows Media Audio] の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

### ● DRM(著作権保護)の解除方法について

WMA の DRM (著作権保護) が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。解除してファイルを作成してください。

※ 作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

### ● ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(37 ページ) をご覧ください。

#### ファイル拡張子

・ ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

#### 論理フォーマット (ファイルシステム)

・ MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル 1,2)、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。

・ 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けしないでください。

#### フォルダ数 / ファイル数

・ MP3/WMA (ディスク)

File+Folder 数 (ルート含む) : 最大 512

・ USB 機器

フォルダ数 : 最大 999 フォルダ (1 フォルダあたり最大 999 ファイル)。

ファイル数 : 最大 65535 ファイル

## ■ ディスクの再生について

- ・ ディスクを入れると、タイトル表示部に「LOADING」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生がはじまります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- ・ WMA の DRM (著作権保護) が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。
- ・ MP3/WMA データ以外のファイルは再生できません。
- ・ 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・ 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- ・ 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- ・ 再生できないディスクが挿入された場合は、LOADING 後、「DISC ERROR」と表示されます。
- ・ マルチセッションディスク (音楽 CD-DA の曲と MP3/WMA の曲が混在したディスク) 再生時、正常に再生できない場合もあります。

## ディスクを入れる

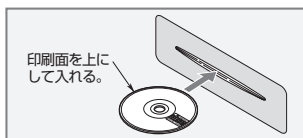
### ディスクインプレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーが ON または ACC であればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

### ⚠ 注意

- ・ ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- ・ セロハンテープやレシタル CD のラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があったりする CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入ると、CD が取り出せなくなり、故障の原因となります。
- ・ ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- ・ CD-R または CD-RW で記録されたディスクでも使用できない場合があります。

## 1 ディスク挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

## ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも [▲] ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

### 1 [▲] ボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

## すでに入っているディスクを聴く

### 1 [⏪SRC] ボタンを押して、DISC を選ぶ

→CD/MP3/WMA モードになると、自動的に再生がはじまります。

ディスクが入っていないときは、CD/MP3/WMA モードにはなりません。

## 再生を止める (一時停止)

### 1 [BND] ボタンを押す

→ディスプレイに (PAUSE) を表示し一時停止します。

### 2 続けて再生を聴きたいときには、もう一度 [BND] ボタンを押す

## 曲を選ぶ

### 1 次の曲を聴くときは、[▶▶] ボタンを押す 前の曲を聴くときは、[◀◀] ボタンを 2 回押す

### アドバイス

- [▶▶] ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。
- [◀◀] ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。
- 曲の頭部分を再生しているときに [◀◀] ボタンを 2 回押すと、2 曲前の曲へ戻ることがあります。

## 早送り / 早戻りする

### 1 早送りするときには、[▶▶] ボタンを押し続ける 早戻するときには、[◀◀] ボタンを押し続ける

### アドバイス

- MP3/WMA ディスクの場合は、開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。
- [◀◀] ボタンを押し続けても前の曲には戻らず、現在再生中の曲の頭より再生を始めます。

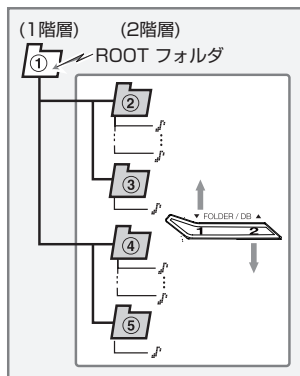
## フォルダを切り替える (フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMA ディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

### 1 [1], [2] ボタンを押す

→ [1] を押したときは前のフォルダに、[2] を押したときは次のフォルダに移ります。



### 2 曲を選ぶには [◀◀], [▶▶] ボタンを押す

## いろいろな再生 (スキャン/リピート/ ランダム演奏)

### アドバイス

- ・リピート/ランダム演奏は電源を **OFF** にした場合でも保持されます。
- ・スキャンは保持されません。

### ■ 聴きたい曲を探す (スキャン演奏)

音楽 CD または MP3/WMA ディスク 1 フォルダ内に収録されている全曲を 10 秒間ずつ再生します。

#### 1 [5] ボタンを押す

→ ディスプレイに、(**SCAN ALL**) を 2 秒間表示、**[SCN]** インジケータが点灯し、演奏をします。

### アドバイス

- ・スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

### ■ 曲を繰り返し聴く (トラックリピート演奏)

再生中の曲を繰り返し再生します。

#### 1 [3] ボタンを押す

→ ディスプレイに、(**RPT ONE**) を 2 秒間表示、**[↺]** インジケータが点灯し、リピート演奏をします。

### ■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

#### 1 [3] ボタンを2回押す

→ ディスプレイに、(**RPT FOLDER**) を 2 秒間表示、**[FOLDER]** と **[↺]** インジケータが点灯し、オールリピート演奏をします。

### ■ フォルダ内の曲をランダムに聴く (フォルダランダム演奏)

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を順不同に再生します。

#### 1 [4] ボタンを押す

→ ディスプレイに (**RDM FOLDER**) を 2 秒間表示、**[FOLDER]**、**[>↺]** インジケータが点灯し、フォルダランダム演奏をします。

### ■ 全フォルダの曲をランダムに聴く (オールランダム演奏)

MP3/WMA ディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

#### 1 [4] ボタンを押す

→ ディスプレイに (**RDM ALL**) を 2 秒間表示、**[>↺]** インジケータが点灯し、オールランダム演奏をします。

### ■ 通常の演奏に戻すには…

#### 1 もう一度、同じボタンを押す

→ それぞれのインジケータが消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

# USB 機器のオーディオファイルを聴く

## < USB 機器の操作について >

この章は、USB 機器を本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作は CD/MP3/WMA と同様の操作です。

- ・ 曲を選ぶ
- ・ 早送り / 早戻し (DRM ファイルを除く)
- ・ 一時停止・フォルダ選択
- ・ スキャン / リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(21 ~ 23 ページ) をご覧ください。

## USB 機器について

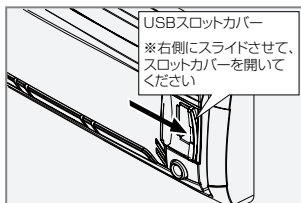
- ・ 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA ファイルです。詳しくは「MP3/WMA について」(21 ページ) をご覧ください。
- ・ 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「USB マスストレージクラス」として認識されることが条件となり、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- ※ 「USB マスストレージクラス」に準拠したデバイス は、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。
- ・ 使用する USB 機器が「USB マスストレージクラス」に準拠しているかは、USB 機器の販売メーカーにお問い合わせください。
- ・ USB 機器を本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。かならず別販の延長 USB ケーブルをご使用ください。
- ・ 記録されているデータを消失してしまったのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- ・ 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USB ハブを介して接続することもできません。
- ・ 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- ・ セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- ・ 接続する USB 機器によっては曲順などが変わってしまう場合があります (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・ USB 再生中、フォルダ UP/DOWN を連続して操作すると、演奏時間表示が [00:00] のまま、音が出ません。

## USB 機器を接続する



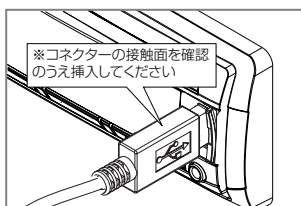
- ・ USB コネクタ部に異物を入れないでください。
- ・ エンジンをつける前に接続しないでください。USB 機器がこわれることがあります。

### 1 USB スロットカバーを開ける



### 2 USB スロットに別販の USB 延長ケーブルを接続する

### 3 別販の USB 延長ケーブルに USB 機器を接続する



→ 挿入すると、USB 機器に保存されている最初のファイルから再生をはじめます。

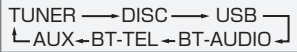
## アドバイス

- ・ USB 機器を認識しない場合は、[ **⏪ SRC** ] ボタンを押してソースを切り替えてください。
- ・ USB 機器はコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB 機器を認識しない場合があります。
- ・ 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。
- ・ 本機の USB スロットを使用して、携帯電話やオーディオ機器などの充電はできません。

## USB 機器のオーディオファイルを聴く

### 1 [SRC] ボタンを押して、ソースを切り替え、USB を選ぶ

→ 押すたびに次のように切り替わります。USB モードになると前回停止したところからはじまります。(DRM ファイルを除く)



USB 機器が接続されているときに USB モードを表示します。

- USB 機器を取り外し、再度接続したときは、USB 機器に保存されている最初のファイルから再生をはじめます。

## 再生の終了と USB 機器の取り外し

### 1 [SRC] ボタンを押して、USB 以外のソースに切り替える

→ USB 機器へのアクセスが停止します。

#### 注意

- USB モード中に USB 機器を抜き取らないでください。USB 機器のデータが破損する場合があります。
- 貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

### 2 USB スロットから延長ケーブルを取り外す

### 3 USB スロットのカバーを閉じる

#### アドバイス

- 再生終了後は USB スロットのカバーを閉じて、ほこりなどの侵入による接続端子の損傷を防止してください。
- USB 機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USB 機器が変形したり故障する場合があります。

# Bluetooth をつかう

## Bluetooth 対応機器を利用する

携帯電話などの Bluetooth 対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。Bluetooth 対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetooth を利用したハンズフリー機能を使用できます。

接続可能な携帯電話の情報についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

## Bluetooth (ブルートゥース) とは

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

本機では、Bluetooth に対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。

Bluetooth の各機能を使用するには、下記プロフィールに対応した携帯電話が必要となります。

### ハンズフリー通話

HFP (Hands-Free Profile)

### オーディオ

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)  
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

Bluetooth プロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

## Bluetooth 機器の取り扱いについて

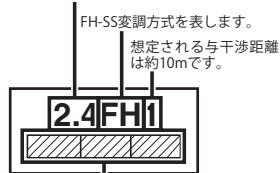
Bluetooth 機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

2.4GHz帯を使用する無線機器です。



全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域は回避不可です。

## Bluetooth 対応機器を登録する (ペアリング)

はじめて Bluetooth 対応機器を利用するときは、本機に登録 (ペアリング) する必要があります。

最大 5 台までの Bluetooth 対応機器を登録することができます。

### 1 Bluetooth 対応機器の Bluetooth を起動する

→ Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

### 2 Bluetooth 対応機器から本機の「Bluetooth-Audio」を探索して選択する

→ 6 ケタのコードが Bluetooth 対応機器と本機の表示が同一かを確認し、ペアリングします。

→ ペアリングが完了すると、Bluetooth 対応機器によって、、、インジケータが点灯します。

### アドバイス

- Bluetooth 対応機器の機種によっては、Bluetooth 対応機器で本機を検索してペアリングすることがあります。パスキーの入力が要求されたら PIN CODE を入力してペアリングしてください。初期設定は、「1234」です。
- Bluetooth 対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 台の異なる Bluetooth 対応機器を同時に接続すると、通常の動作に影響する場合がありますため、1 台ずつ使用することをお勧めします。

## Bluetooth 機能を設定する

### ■ Bluetooth 対応機器の接続を切り替える (BT SELECT)

本機に複数の Bluetooth 対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

- 1 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth を起動する
- 2 [♪] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 3 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、(BT SELECT) を選ぶ
- 4 [ROTARY] ノブを回して、接続したい Bluetooth 機器を選ぶ
- 5 [ROTARY] ノブを押す  
→ 選択した機器が接続されます。
- 6 [DISP] ボタンを押すと元のモードに戻ります

#### アドバイス

- 接続ができないときは、「Bluetooth 対応機器を登録する (ペアリング)」(26 ページ) を参照して再接続してください。

### ■ Bluetooth 対応機器を削除する (BT DELETE)

ペアリングした Bluetooth 対応機器を削除します。

- 1 [♪] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、(BT DELETE) を選ぶ
- 3 [ROTARY] ノブを回し、削除したい Bluetooth 機器を選び、[ROTARY] ノブを押す
- 4 [ROTARY] ノブを回して、「ARE U SURE」を選び、[ROTARY] ノブを押す  
→ 選択した機器が削除されます。  
• 「CANCEL」を選ぶと削除を中止します。
- 5 [DISP] ボタンを押すと元のモードに戻ります

### ■ Bluetooth 対応機器の接続を解除する (BT DISCON)

Bluetooth 対応機器の接続を解除します。

- 1 [♪] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、(BT DISCON) を選ぶ、[ROTARY] ノブを押す

- 3 解除したい Bluetooth 機器を選び、[ROTARY] ノブを押す

- 4 [ROTARY] ノブを回して、「ARE U SURE」を選び、[ROTARY] ノブを押す

→ 接続を解除します。

- 「CANCEL」を選ぶと解除を中止します。

- 5 [DISP] ボタンを押すと元のモードに戻ります

#### アドバイス

- 再度接続するには、「Bluetooth 対応機器の接続を切り替える (BT SELECT)」(27 ページ) を行います。

### ■ 自動応答する (A-ANSWER)

着信時に、自動で応答できるように設定できます。

- 1 [♪] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、(A-ANSWER) を選ぶ
- 3 [ROTARY] ノブを回して、「ON」を選ぶ  
→ OFF を選ぶと手動応答になります。
- 4 [DISP] ボタンを押すと元のモードに戻ります

### ■ パスキーを変更する (PIN CODE)

- 1 [♪] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、(PIN CODE) を選ぶ、[ROTARY] ノブを押す
- 3 [◀◀], [▶▶] ボタンを押して、カーソルを切り替える
- 4 [ROTARY] ノブを回し、ケタを選ぶ
- 5 [ROTARY] ノブを押し続ける (約 2 秒間)  
→ 「MEMORY」が表示され、パスキーが入力されます。

## 携帯電話を利用する

### ⚠ 注意

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

## 電話の着信

カーステレオをご使用中は、本機は待ち受け状態となります。着信時には、カーステレオの音量が自動的にミュートされ、呼出音が車載スピーカーから再生されます。

カーステレオは一時的に電話割り込みモードに切り変わり、電話番号が本機に表示されます。

### ⚠ 注意

・走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。

### ■ 電話を受ける

#### 1 電話着信中に [DISP] ボタンを押す

→ 通話中になり、ディスプレイに通話時間を表示します。

#### 2 通話を終了するときには、[ ] ボタンを押す

→ 通話が終了します。

### ■ 着信を拒否する

#### 1 電話着信中に [ ] ボタンを押す

→ 通話が拒否されます。

## 電話をかける

#### 1 [ ] SRC] ボタンを押して、ソースを切り替え、「BT-TEL」を選ぶ

→ 押すたびに、次のようにソースが切り替わります。



#### 2 [BND] ボタンを押し、[ ]、[ ] ボタンを押して各項目を選ぶ

##### 電話をかけるメニュー表示

REDIALS : 発信番号履歴リスト  
RECEIVED : 着信番号履歴リスト  
SSD ADJ : 短縮ダイヤル

### ■ 発信履歴リストから電話をかける (REDIALS)

#### 1 「電話をかける」の手順 2 から (REDIALS) を選び、[ROTARY] ノブを押す

→ 発信番号した履歴が表示されます。

#### 2 [ROTARY] ノブを回して、発信した電話番号を選ぶ

#### 3 [ROTARY] ノブを押す

→ 電話をかけます。

#### 4 通話を終了するときには、[ ] ボタンを押す

→ 通話が終了します。

### ■ 着信履歴リストから電話をかける (RECEIVED)

#### 1 「電話をかける」の手順 2 から (RECEIVED) を選び、[ROTARY] ノブを押す

→ 着信番号履歴が表示されます。

#### 2 [ROTARY] ノブを回して、着信番号を選ぶ

#### 3 [ROTARY] ノブを押す

→ 電話をかけます。

#### 4 通話を終了するときには、[ ] ボタンを押す

→ 通話が終了します。

### ■ 短縮ダイヤル機能 (SSD ADJ)

#### 短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルに電話番号を 5 件登録することができます。[DIRECT] (1 ~ 5) ボタンを押すと、登録した電話番号に電話をすることができます。

#### 1 「発信履歴リストから電話をかける (REDIALS)」または「着信履歴リストから電話をかける (RECEIVED)」の手順 2 から登録したい電話番号を表示させる

#### 2 [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンの任意の (1 ~ 5) ボタンを押し続ける (約 2 秒間)

→ 「MEMORY」が表示され、押した [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンに電話番号が登録されます。

#### 短縮ダイヤルで電話をかける

#### 1 [DIRECT] (1 ~ 5) ボタンを押す

→ 該当ボタンに登録した電話番号に電話をかけます。

#### 短縮ダイヤルの名称を編集する

登録した短縮ダイヤルの名称を編集することができます。英数字文字 10 文字まで入力編集することができます。

#### 1 「電話をかける」の手順 2 から (SSD ADJ) を選び、[ROTARY] ノブを押す

## 2 [ROTARY] ノブを回して、「CONTACTS」を選び、[ROTARY] ノブを押す

→ 「CLAEAR ALL」を選ぶと登録した全リストを削除します。

## 3 [ROTARY] ノブを回して、リストを選び、[ROTARY] ノブを押す

・登録しない場合、「NO NUMBER」が表示され、編集できません。

## 4 [ROTARY] ノブを回して、「EDIT NAME」を選び、[ROTARY] ノブを押す

→ 「CLAEAR」を選ぶと該当リストを削除します。

## 5 [ROTARY] ノブを回して、数字またはアルファベットを選ぶ

## 6 [◀◀]、[▶▶] ボタンを押して、カーソルを移動させる

→ [◀◀]、[▶▶] ボタンを押すと入力した文字が確定します。手順5、手順6を繰り返し、文字を入力する。

## 7 入力が終わったら、[ROTARY] ノブを押す

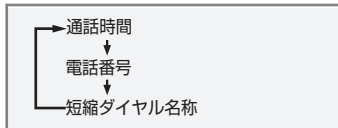
→ 「MEMORY」が表示され、編集が確定します。

## 表示を切り替える

通話中のディスプレイ表示を切り替えます。

### 1 [DISP] ボタンを押して表示を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り替わります。



→ 短縮ダイヤル名称を入力していないときは、「NO NAME」が表示されます。

## プライベート通話する

ハンズフリー通話から、携帯電話本体での通話に切り替えることができます。

### 1 [BND] ボタンを押す

→ ハンズフリー通話を停止し、携帯電話本体で直接通話することができます。もう一度押すとハンズフリー通話に戻ります。

## 送話音声をミュートにする

通話中に送話音声が消音状態にできます。

### 1 [ROTARY] ノブを押す

→ 送話音声ミュートになります。もう一度押すと解除されます。

## Bluetooth オーディオを聴く

### < Bluetooth オーディオの操作について >

この章は、Bluetooth オーディオ 機器を本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作は CD/MP3/WMA と同様の操作です。

- ・曲を選ぶ
- ・早送り / 早戻し
- ・一時停止

「CD/MP3/WMA を聴く」(21 ~ 23 ページ) をご覧ください。

## Bluetooth オーディオをペアリングする

### 1 Bluetooth オーディオをペアリングする

「Bluetooth 対応機器を登録する (ペアリング)」(26 ページ) と同じ手順でペアリングします。

- ・Bluetooth 方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetooth オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ・Bluetooth オーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- ・Bluetooth オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

## Bluetooth オーディオのオーディオファイルを聴く

### 1 [◻ SRC] ボタンを押して、ソースを切り替え、「BT-AUDIO」を選ぶ

→ 押すたびに、次のようにソースが切り替わります。



# ポータブルオーディオ (AUX)

## AUX を選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。

### 1 ポータブルオーディオを接続した時は [⏪ SRC] ボタンを押してソースを切り替え、「AUX」を選ぶ

→ 押すたびに次のように切り替わります。AUX モードになると接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。



## AUX 入力の接続のしかた

市販の3.5mmステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの「AUX入力端子」へ接続してください。

### ⚠ 注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

## ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。

音が割れる / 音が小さいときには、入力レベルを調整してください。

### 1 [♪] ボタンを押し続けて(約 1 秒間)、(AUX SENS) を選ぶ

### 2 [ROTARY] ノブを回して設定する

- **LOW** : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID** : 通常レベルのとき
- **HIGH** : 入力レベルが低いとき

※初期設定は、「MID」です。

### アドバイス

- この機能は、AUX モードを選択しているときに設定できます。

# ステアリングホイールスイッチを使う

本機能は、ステアリングホイールスイッチ搭載車で使用できます。お車のステアリングホイールスイッチ機能を割り付けることで、運転中でもステアリングから手を離さずにオーディオの操作ができます。

## アドバイス

- 車両によっては、機能がない、または使用できないことがあります。ご了承ください。
- スwitchの形状は、車両によって異なります。

## ⚠ 注意

- 走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

## [▲], [▼] 音量ボタン

- 音量を調節する。

車両によっては、機能がありません。

## [◀◀], [▶▶] サーチボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。  
押し続けると、早送り / 早戻しをします。
- プリセットチャンネルをアップ / ダウンします。  
押し続けると、シークアップ / シークダウンします。(ラジオ時)

## 「TEL ON-HOOK」 「TEL OFF-HOOK」 ボタン

- 電話を受けることができます。
- 通話を終了する、もしくは着信を拒否します。

# 故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		配線が不完全	お買い上げの販売店にご相談ください。
		リモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、リモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い上げの販売店にご相談ください。
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	本機背面に配線されているメイン電源コードを一旦外し、メモリーの内容をクリアしてから、再度メイン電源コードを接続し、本機電源を入れ直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。再度、短時間で音が出なくなる場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	「DX」モードにするか、手動選局モードで選局してください。 ※「DX」モードの設定は19ページを参照してください。

	現象	原因	処置
CD MP3 WMA (D-ISSC再生機能あり機種のみ)	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。	
ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。	
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。
USB	音が出ない	接続機器にMP3/WMA/ファイルがない	接続機器にMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USB機器が認識されない	USB機器が破損している	USBコネクタを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
		USBコネクタの接続が悪い	
		動作状況により、本機とUSB機器、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
USB機器が挿入できない	USBコネクタの挿入方向が間違っている	USBコネクタの向きを変えて挿入してください。	
	USB機器のコネクタが破損している	新しいUSB機器と交換してください。	

## 故障かな？と思ったら

現象		原因	処置
Bluetooth	Bluetooth対応機器を本機とペアリングできない	Bluetooth対応機器は本機のプロフィールをサポートしていません。	別のBluetooth対応機器をペアリングしてください。
		Bluetooth対応機器のBluetoothを起動していない	Bluetooth対応機器のBluetoothを起動してください
携帯電話	ペアリング後、本機から電話を送受信できない	Bluetooth接続がまだ確立されていない 通常、ペアリング後に接続が確立されるまで数秒を要する電話によっては、ペアリング後、自動的に接続しないものがある	お使いの電話を手動で接続するか、電話モードに切り換えて自動接続をONにしてください（本機が再接続を開始します）。  本機の電源を入れ直し、もう一度ペアリングを実行してください。必ず、機器と本機の両方のペアリング情報が削除されてから、新しいペアリング操作を開始してください。
		本機が他の機器に接続されている	別の機器を取り外し、使用する機器を接続してください。
	電話を使って本機に再接続できない	機器のペアリング情報が本機から削除されている可能性がある	本機の機器リストに機器が表示されているか確認し、再度ペアリングをしてください。
	発信者の声がひずむ、または途切れる	音声が大きすぎ（車内の環境、スピーカー、マイクによる）、半二重モードが自動的に起動している	電話の音量を下げてください。
	Bluetoothオーディオ機器など別のBluetooth機能を使用中、ペアリングや電話との接続に問題が発生する	低帯域幅リンクでの過剰なBluetooth動作 ペアリングや接続が困難になる場合がある	すべての機器を取り外してください。最初に電話とのペアリングを行い、次にA2DP機器を接続してください
	着信を受けても音が出ない	呼出音が聞こえる前に着信を受けている 一部の電話では、音声为正しく本機に転送されない場合がある	通話中の場合は、電話を使って音声を電話に戻してください。次回は呼出音が聞こえてから、着信を受けてください。問題が解消されない場合、次の着信の前に、電話を再接続するか、新しいペアリングを作成してください。
	会話中に音が聞こえなくなる	Bluetooth接続リンクが切断されている	電話をいったん取り外して再接続してください。問題が解消されない場合、電話と本機の両方で新しいペアリングを作成してください。

	現象	原因	処置
Bluetoothオーディオ	電話割り込み後、Bluetoothオーディオが切断される	同じ機器（携帯電話機）のBluetoothオーディオと電話機能が動作している場合に起こるBluetoothオーディオ機器は機器/電話機に大きく依存するため、割り込み後に再開されない場合がある	電話割り込み後、電話のA2DP/AVRCP（オーディオストリーミングプロファイル）を再接続してください。
	Bluetoothオーディオ機器をリモートコントロールできない	AVRCPが接続されていない	機器を取り外してから、再接続してください。問題が解消しない場合、機器と本機のペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリングを実行してください。
	接続された電話機の使用時に、Bluetoothオーディオが途切れる	低帯域幅リンクでの過剰なBluetooth動作 一部の電話機は処理できない	お使いの電話機にこの問題が発生している場合、Bluetoothオーディオの実行中は電話の数字キーを操作しないでください。電話を操作する前に、Bluetoothオーディオが一時停止することがあります。
	ディスプレイに「BT AUDIO...」と表示されるが音が出ない	AVRCPに対応していないBluetoothオーディオ機器があるため、再生/一時停止が同期されない	機器と本機がいずれも再生状態を確認してください。必要に応じて機器の状態を変更してください。それでも問題が解消されない場合、本機または機器の電源を入れ直してください。
		機器間の接続リンクが壊れている可能性がある	機器と本機のペアリング情報を削除し、もう一度ペアリングを実行してください。

## 故障かな？と思ったら

### エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
D I S C P l a y  ( D I S C 再 生 機 能 あ り 機 種 の み )	CD MECHA ERROR	CDメカ不具合	ディスクを一旦イジェクトし、再度挿入してください。
	DISC ERROR	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
NO FILE	MP3/WMA以外のファイルしか入っていない	録音されているディスクと交換してください。	
U S B	USB DEVICE ERROR	プロトコルやファイルシステムが正しくないとき	正しいプロトコルやファイルシステムでUSBを書き換えてください。
	NO DEVICE	USB機器が接続されていない、又は認識されない	他のサポートされた機器を接続してください。
	NO FILE	MP3/WMAファイルが保存されていないとき	そのデバイスにMP3/WMAファイルを保存してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、本体の電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 仕 様

## ■ CD プレーヤー部 (DISC 再生機能あり機種のみ)

周波数特性 : 17Hz ~ 20kHz ( ± 3dB )  
SN 比 : 65dB 以上  
高調波ひずみ率 : 0.4%以下

## ■ FM チューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 99.0MHz  
実用感度 : 15dB $\mu$ V 以下  
SN 比 : 50dB 以上  
分離度 : 20dB 以上 (400Hz)  
高調波ひずみ率 : 3%以下 (400Hz)

## ■ AM チューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz  
実用感度 : 37dB $\mu$ V 以下  
SN 比 : 42dB 以上

## ■ USB 部

最大転送レート 12Mbps で USB1.1/2.0 互換  
フォルダ構造 : 8 階層  
フォルダ数 : 最大 999 フォルダ  
(1 フォルダあたり最大 999 ファイル)  
ファイル数 : 最大 65535 ファイル

[MP3]

MP3 デコード : MPEG-1、2、2.5  
オーディオレイヤー 3 準拠

サンプリングレート (kHz) :

MPEG-1 : 32、44.1、48  
MPEG-2 : 16、22.05、24  
MPEG-2.5 : 8、11.025、12

ビットレート (kbps/VBR) :

MPEG-1 : 32 ~ 128、160 ~ 384  
MPEG-2 : 32 ~ 128、160 ~ 384  
MPEG-2.5 : 32 ~ 128、160 ~ 384

[WMA]

サンプリングレート (kHz) : 22.05、32、44.1、48  
ビットレート (kbps/VBR) : 32 ~ 320

## ■ MP3/WMA 部

(DISC 再生機能あり機種のみ)

セクタ構造 : CD-ROM モード 1、  
モード 2- フォーム 1 (自動判別)

論理フォーマット :

ISO9660 レベル 1,2/Joliet/Romeo

フォルダ構造 : 8 階層

ファイル数 : File+Folder 数 (ルート含む) 最大 512

[MP3]

MP3 デコード : MPEG-1、2、2.5  
オーディオレイヤー 3 準拠

サンプリングレート (kHz) :

MPEG-1 : 32、44.1、48  
MPEG-2 : 16、22.05、24  
MPEG-2.5 : 8、11.025、12

ビットレート (kbps/VBR) :

MPEG-1 : 32 ~ 128、160 ~ 384  
MPEG-2 : 32 ~ 128、160 ~ 384  
MPEG-2.5 : 32 ~ 128、160 ~ 384

[WMA]

サンプリングレート (kHz) : 22.05、32、44.1、48  
ビットレート (kbps/VBR) : 32 ~ 320

## ■ AUX 部

入力感度

LOW : 1.3V  
MID : 1.0V  
HIGH : 0.7V

## ■ オーディオ部

最大出力 : 12W × 4CH (8  $\Omega$ )

適合インピーダンス : 8  $\Omega$

BASS : ± 15dB (100Hz)

TREBLE : ± 15dB (10kHz)

## ■ Bluetooth

規格 : Bluetooth Ver. 2.1 + EDR

プロファイル :

HFP(Hands-Free Profile):

Ver. 1.5

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile):

Ver. 1.2

AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile):

Ver. 1.3

## ■ 共通部

電源電圧 : DC 26.4V

接地方式 : マイナス接地

消費電流 : 5.0A 以下

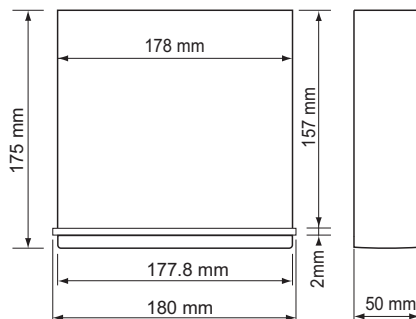
ヒューズ定格 : 7A

外形寸法 : 180 (W) × 50 (H) × 175 (D) mm

[取付寸法 : 157 (D) mm]

質量 : 1.01kg

## ● 本体部



※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

### WMDRM10 について

- この製品は財産権により保護されています。この製品外での当該技術の使用または配布はマイクロソフトの許諾がなければ禁止されます。
- コンテンツオーナーは著作権を含む自らの知的財産権を守るためにウィンドウズメディアデジタル権管理技術 (WMDRM) を使用しています。このデバイスは WMDRM によって保護されたコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用しています。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツオーナーは保護されたコンテンツを再生またはコピーするために WMDRM を使用するソフトウェアの能力を取り消すようマイクロソフトに依頼することがあります。この取り消しは保護されていないコンテンツには影響しません。あなたが保護されたコンテンツ用にライセンスをダウンロードするとき、あなたはマイクロソフトがライセンスとともに取り消しリストを含めることができることに同意します。コンテンツオーナーはそのライセンスにアクセスするための WMDRM をアップグレードするようあなたに求めることがあります。あなたがアップグレードを差し控えた場合、あなたはアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスすることはできません。

# アフターサービスについて

---

## ■ 保証について

この商品には、保証書もしくは購入証明書が添付されています。必要事項を購入店で記入しますので記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、再発行はいたしませんので、ご注意ください。

## ■ 保証期間

添付の保証書をご確認ください。

## ■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店にご相談ください。

## ■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

## ■ 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後 6 年保有しています。

# クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

Clarion ホームページ

<https://www.clarion.com>

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ  
フリーダイヤル  **0120-112-140**

受付時間: 9:30~12:00、13:00~17:00

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

保証書で以下内容をご確認頂くと、スムーズな対応ができます。

**お買い上げ日、販売店名、製品型名**